

第9号 (平成26年12月26日発行)

府中校 たまねじトピックス



ものづくり体験塾

組込みシステム技術科

夢の第一歩 LEDを自分のプログラミング
で華やかに輝かせました!

組込みシステム技術科で「ものづくり体験塾」を開催

12月15日(月)、16日(火)の二日間にわたり、府中校で「ものづくり体験塾」が開催されました。「ものづくり体験塾」は、ものづくり体験や企業見学などを実施し、若年者の方々の製造業への関心を高めてもらうことを目的としています。すでに8日(月)は八王子校で「おもしろ電気実験・電気工事体験」、11日(木)は多摩職業能力開発センター校で「床用タイルを組み合わせてカラフルな床を作ってみよう」という企画が行われました。

府中校でのものづくり体験塾は組込みシステム技術科による「フルカラーLEDイルミネーションの製作・組込みプログラミング体験」を企画し、7名(男性6名、女性1名)の参加がありました。



初日 塾生の皆さんの実習に対する真剣な取り組み

最近の明るいニュースに青色発光ダイオードの発明でのノーベル賞受賞がありました。今やLEDは家電製品等でも馴染み深い電子部品です。

この身近なLEDを題材にして、実習を受ける参加者(以下、塾生という)はまず「オームの法則」を始めとする簡単な計算方法と回路設計について学びました。指導員、講師の親身な手ほどきを受けながら、電子部品を基板に取り付け、C言語によるプログラミングを通してフルカラーLEDのイルミネーションやブザー音をコントロールする



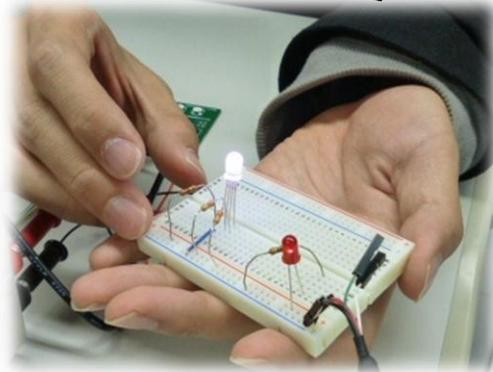
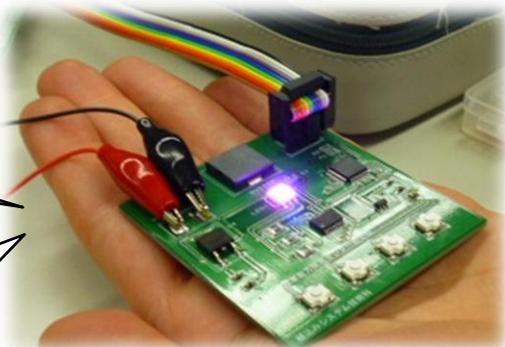
電子工作を行い、組込みシステム技術の面白さと取り組み甲斐を体験できるという内容の実習でした。塾生の方々はここで体験したプログラミング制御の技術からさまざまな産業場面への応用も紹介され夢をふくらませられたのではないのでしょうか。

塾生の方々は LED を自分の好みの色に点灯・点滅させたり、ブザーで音階を刻むのも裏方でプログラムを組込む技術者が支えているということを体験を通して気づき、「プログラミングもはんだ付けも初めてで大変でしたが、先生が丁寧に指導して下さい、このような体験ができてよかったです。就きたい仕事を考える参考になりました。」という感想などが聞かれました。

先生、光らないんですが…
あっ光りました！（塾生）

オンとオフの時間の長さを制御すると明るさを変化させることができますよ。

省エネにも使えそうですね。（塾生）



ここはこうしてブレッドボードに差し込むといいですよ。

2日目 魅力を発見した企業見学と和やかなキャリアカウンセリング

2日目は午前中に地元の府中市住吉町にあるチューブポンプのトップメーカー ウエルコ様への訪問見学が行われ、ものづくりの仕事の実際に触れイメージを深めてもらう機会となりました。

午後は府中校にてものづくり体験塾の振り返りとしてキャリアカウンセリングが行われました。キャリアカウンセリングとは、その人にとって望ましい職業選択やキャリア開発を支援するものです。

1日目の実習に参加された6名の方々を含め、他校の体験塾に参加された方も出席され、合計8名の参加者がありました。就職相談のプロであるキャリアカウンセラー2名を交えてキャリアカウンセリングが行われました。

塾生は2日間の体験での気づきを振り返りシートに記入し、2グループに分かれて塾生同士でシートの項目に沿って思いを話し合ってもらいながら進められました。

塾生は午前中の企業見学で社長さんのお話に引き込まれ、好印象を持った感想を述べたり、お互いの就職活動を話す中で希望の仕事に就くことの難しさや、進路を心に決めつつある希望などを話し合いました。

また、SPI 適性検査(就職活動の適性検査の一種)への対策や履歴書の書き方などの質問などが出されていました。キャリアカウンセラーからは塾生一人ひとりのケースに応じて思いを受け止めつつ、今後の就職活動に向けて自分の強みの PR の仕方などいくつかの具体的なアドバイスがありました。いつしか塾生同士の中から励ましあう声も出され、2時間のキャリアカウンセリングは和やかな雰囲気うちに終了しました。

今回のものづくり体験塾を契機に日本の産業基盤の一端を支える製造業に若い世代の方々に関心を持っていただき、就職に必要な専門知識と技能が身に付けられる職業能力開発センター該当科目への入校をぜひご検討いただきたいものです。指導員・職員一同心よりお待ちしております。ご参加いただきました塾生の皆様、どうもありがとうございました。



キャリアカウンセリング